

設立趣旨書

1. 設立の趣旨

近年、社会は急速に変化し、環境問題、地域課題、経済格差、情報化の進展など、複雑かつ多様な課題が顕在化しています。これらの課題に対しては、既存の枠組みだけでは十分に対応することが難しく、新たな視点と行動力を持つ人材の育成が求められています。

しかしながら、現在の教育環境においては、知識の習得に偏重しがちであり、社会課題を自分事として捉え、主体的に問いを立て、解決に向けて行動する機会は必ずしも十分とは言えません。また、地域や学校によって、そのような機会の質や量に差が生じている現状があります。

このような背景を踏まえ、青少年が社会課題に向き合い、自ら問いを立て、他者と協働しながら解決策を探究する機会を創出することが重要であると考え、本法人の設立に至りました。

本法人は、青少年の社会問題・社会課題探究活動を支援・助成する事業を通じて、持続可能な社会の実現を志すイノベーターの発掘及び育成を目的とします。

また、教育、地域、産業など多様な分野を横断しながら、人と人との出会いと対話を通じて新たな価値を創出する場を提供し、社会全体の持続的な発展に寄与することを目指します。

2. 法人の必要性

青少年の探究活動は、これからの社会を担う人材育成において極めて重要である一方で、指導体制や外部連携の不足、経済的制約などにより、その機会が十分に保障されているとは言えません。

本法人は、学校や地域、企業、大学等と連携し、探究活動の機会提供や支援体制の構築、活動費の助成などを行うことで、これらの課題の解決を図ります。

また、地域に根ざした活動を展開することで、教育と地域社会をつなぎ、持続可能な社会づくりに資する人材の育成とコミュニティの活性化を推進します。

3. 今後の展望

本法人は、青少年の探究活動支援を軸に、教育・地域・産業の分野を横断する取り組みを展開し、持続可能な社会の実現に向けた実践的な活動を推進していきます。

また、国内外の多様な主体との連携を深めながら、活動の質の向上と機会の拡大を図り、社会に新たな価値を創出するプラットフォームとしての役割を果たしていきます。

なお、関わる中高生の問題意識や探究テーマに応じて、定款第4条に基づく多様な分野における事業を柔軟に展開していくものとします。

4. 申請に至るまでの経過

設立代表者は、19歳の頃から「高校生の進路指導及びキャリア教育の在り方」について研究を開始し、約25年にわたりその理論と実践の両面から研究を続けてまいりました。また、約15年前に起業し、高等学校を中心に進路指導及び探究学習の支援事業を展開してまいりました。

これらの活動を通じて、社会課題に対して主体的に向き合う生徒の育成には、従来の教育活動の枠を超えた実践的な学びの機会が必要であると認識するに至りました。特に、青少年が

自ら問いを立て、他者と協働しながら課題解決に取り組む探究活動の重要性を強く実感しております。

これまで、学校現場における探究学習の支援に加え、生徒が取り組んだ社会課題探究の成果を発表し合う機会の創出や、地域・大学・企業等と連携した学習機会の提供に取り組んでまいりました。また、探究活動を社会実装へとつなげる取り組みとして、商品開発や農業分野における実践的な活動の可能性についても検討を重ねてまいりました。

しかしながら、これらの取り組みは任意団体や個人の活動として実施されることが多く、継続性や発展性、資金調達の面において課題がありました。また、教育・地域・産業を横断した活動を体系的に推進するためには、社会的信用を有する法人組織の必要性を強く認識するに至りました。

こうした背景から、青少年の探究活動を継続的かつ体系的に支援し、その成果を社会へと接続する仕組みを構築することを目的として、本法人の設立を決意いたしました。

設立にあたっては、関係者との協議を重ねるとともに、事業内容や運営体制について検討を行い、定款の作成、役員を選定、事業計画及び活動予算の策定等の準備を進めてまいりました。

以上の経過を経て、本法人の設立申請に至ったものです。

以上の趣旨により、特定非営利活動法人mødeを設立するものです。

令和8年4月13日

特定非営利活動法人møde
設立代表者 西田 将浩